



外国出張報告書

平成 25 年 12 月 6 日

1. 出張国名 ブルキナファソ、ガーナ
2. 出張月 平成 25 年 10 月～12 月
3. 出張目的 (1) 調査対象村の決定、基礎調査の実施準備及び改良かまど基礎情報の収集
 (2) ため池事例調査及び現地基礎調査

4. 成果の概要

(1) 地域資源

今回調査では、調査対象村の決定、この村のベースライン（BL）調査、改良かまどに関する基礎情報調査等を行った。

調査対象村については、アクセスの再確認を行って調査対象村を Guesna 村に決定した。BL 調査については、昨年ニジェールで実施した調査を基本に仕様書及び調査表の見直しを行い、見積依頼、発注を行った。改良かまどに関する基礎情報調査については、ブルキナ国の取り組みの経緯・方針など一般情報収集、金属製及びセラミック製改良かまどの種類及び性能調査、土製改良かまどの普及実態調査を行った。

(2) 稲作普及促進

今回調査では、ブルキナファソため池調査、PABSO(ブルキナファソ南西部州及び Sissili 県低湿地整備事業) 現地調査、ガーナ国タマレため池現地調査、旧補助金事業実施圃場調査を行った。

ブルキナファソため池調査では、同国中央州及び中央南部州の 5 つのため池の現地調査を行った。PABSO の事業は、敷石で表面保護した「固定等高線畦畔」を低湿地に縦断勾配に応じて設置し、その間を均平化して流水の貯留による水稻作を行うもので、タマレを含むガーナ国北部での応用展開の可能性を確認できた。

ガーナ国クマシ近郊では旧補助金事業実施圃場 2 団地でため池の可能性調査を行い、ガーナ国のため池のさらなる現状調査及び情報収集の必要性が高いことを確認できた。